



## 第44回 科学講演会開催のお知らせ

**主催** 財団法人 東レ科学振興会  
 千葉県浦安市美浜一丁目8番1号(東レビル)  
 Tel 0473-50-6104 Fax 0473-50-6082

**とき** 平成6年10月4日(火)  
 開場: 17時30分  
 開演: 18時00分 終演: 20時45分

**ところ** 有楽町朝日ホール  
 東京都千代田区有楽町2-5-1  
 有楽町マリオン11階 (JR 有楽町駅前)

**テーマ** “電波と光で宇宙をみる”

I. 宇宙にひろがる分子の世界  
 分子科学研究所教授 齋藤修二

II. 観測でひろがる宇宙像  
 国立天文台教授 海部宣男

**その他** ★入場無料, 定員638名(予約なし・先着順)  
 ★ご来聴の方には, 後日講演記録を進呈致します。

**編集後記:** 毎日本当に暑い日が続いています。今年は水不足の猛暑で、去年は長雨の冷夏。自然界は人間が思っているようになってくれないものです。

梅雨も今年と去年では両極端でした。去年はいつまでも雨が続いて『梅雨明けなし』だったのに、今年は晴れ間が梅雨の中休みにとどまらなくなって『さかのぼって梅雨明け』。もともとある特定の日をもって季節が変わると考えるには無理があると思うのですが、時候の挨拶が会話の始まりであるお国柄、それでは世間(マスコミ)に許してもらえないでしょうか…。

確かに梅雨明け宣言の経済的効果は絶大です。「待ってました」とばかりに海水浴場やプール、ピヤガーデンに人がどっと繰り出します。クーラーなどの電気製品や夏物衣料の売り上げも激増します。『梅雨明け宣言』は単なる季節の区切り以上の意味を持つようです。

最近では天候に対する関心が非常に高く、気象庁に勤めているというだけで明日の天気から3か月予報まであらゆる質問がとんできます。最近の話題は「いつになれば雨が降るのか?」ばかり。この記事が“天気”に載る頃には各地の水不足が解消されていることを願っています。

編集委員になって1年が過ぎました。やっと“天気”の編集システムが少しずつわかってきたところです。現在、編集委員会ではインターネットの利用に関する解説記事を掲載しようと計画しています。“研究機関めぐり”に続く新企画を立案中です。“支部便り”を充実させるため、地区編集委員の方々に投稿を要請しました。これからも活気ある紙面にしていくために、みなさんからのHOTな声をお待ちしています。

(諸岡 浩子)